新連載

四つの季節の鉄道ものがたり
第一話

夏

あじさい電車に乗って

原田マハ

人生のうちで、一度くらいは都会ではないところに住んでみたいという憧れが、いつのまにか自分の中で芽吹いた。その思いはすくすくと育って、この春、とうとう開花した。

長らく東京で暮らしてきた私だったが、ついに引越した。長野県の、とある森の中に寓居を建て、冬の終わりのまだ寒い時期に移り住んだ。またとんでもない時に…と思われるかもしれないが、冬の次には春がくる。だからいいのだ。

思惑通りに、というか、自然の摂理通りに春がきて、森の緑がいつせいに輝きを増した。やはり、ここに住居を定めてよかったと思う。やがてくる夏を楽しむに、いま、日々を暮らしている。

若い頃は、都会でなければダメなことが多かった。が、年齢を重ねてみると、都会でなくても大丈夫なことが増えていた。自分自身の意識が変わったということもあるが、時代が変わったことも大きい。インターネットも携帯電話もある。出かなくても買える物ができる。顔を合わせての会議もオンラインでできてしまう。まったく、便利な世の中になった。

しかしながら、出かけずになんでもすんでしまうとなると、少々さびしく感じられる。都会と違って、ここではどこへ出かけるのにも面倒くさいのだが、その面倒くささを楽しむのもよからうと、森の住人になつたいまも、引きこもりにはならず、積極的に出かけている。

東京の郊外、京王線沿線に住んでいた頃の私は、都心へは一時間ほどかけて電車を出かけていた。これがなかなか面倒くさい。けれど、決していやではなかった。むしろ移動の時間を楽しんでいた。

私は元来、旅が好きで、「フーテンのマハ」を自称するほどである。旅の何が好きかというと、いろいろあるのだが、何より「移動」そのものが好きなのだ。自覚している。そんなこともあって、電車での日常的な移動も、やっぱりけっこう好きだった。

電車に揺られているあいだは、何もしない。窓の外を流れゆく風景を背に、本を読んだり、スマートフォンをいじったり、いねむりしたりする乗客を眺めるともなく眺めるのが楽しかった。

イラスト・岡林玲

みんな

CONTENTS

Vol.

46

2013

◎日本民営鉄道協会とは？

昭和42年に社団法人として設立され、71社の民営鉄道会社で組織されています。輸送力の増強と安全輸送の確保を促進し、鉄道事業の健全な発達を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とした活動を行っております。なお、JR各社や公営地下鉄などは加入していません。

た。ときに青空が、ときに街の灯が、彼らの背後を流れていった。小説のアイデアが心に浮かんでくるのも、そういう何気ない移動のあいだだった。京王線のいちばん好きな風景は、六月にあった。井の頭線沿線を、あじさいがいつせいに彩るのだ。いったい誰があじさいを植えようと考えついたのでろう。そして実行したのでろう。梅雨のうつつとらしい季節、車内に涼風を呼び込む沿線のあじさいを目にするたびに、その演出をした誰かに感謝した

い気持ちになったものだ。そして、つり革にぶら下がりながら、雨に濡れる美しい花と緑の葉を飽かず眺めて、いつの日か花と緑に囲まれた暮らしをしたい、と夢想していた。雨に打たれていつそう緑を深める森の中の書齋にいて、夏がくるまえに、東京へ「里帰り」しようか、などと思う。いまはもう遠く懐かしい、あじさい電車に乗って。

はらだまは

作家。東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史科卒業。伊藤忠商事、森ビル森美術館設立準備室、ニューヨーク近代美術館勤務を経て、2002年フリーのキュレーターとなり、06年より作家となる。05年「カフィーを待ちわびて」で第1回日本ラプストリー大賞を受賞。12年「楽園のカンヴァス」で第25回山本周五郎賞受賞。最新刊に「ジヴェルニーの食卓」(集英社)がある。

02 四つの季節の鉄道ものがたり―第一話 夏
あじさい電車に乗って
●作家 原田マハ

04 特集／
希望ある存続へ
「和歌山電鐵貴志川線の再生とこれから」
TOP INTERVIEW

08 日本一心豊かな
ローカル線をつくる。

●和歌山電鐵株式会社 代表取締役社長
岡山電気軌道株式会社 代表取締役社長
両備グループ 代表 CEO
両備ホールディングス 代表取締役会長兼 CEO
小嶋 光信
REPORT

08 貴志川線の再生と
希望ある存続を目指して

12 赤字ローカル線から「地域の宝」へ。
和歌山電鐵と地域が一体となって進める
創意工夫ある取り組み。
●和歌山電鐵株式会社 総務部長 麻生剛史

15 Interview Column
人も、まちも変わる。
●ドーンデザイン研究所 水戸岡鋭治

17 貴志川線運営委員会メンバーに聞く
それぞれにとっての「貴志川線」

●和歌山県 企画部 地域振興局 総合交通政策課 課長 鈴木孝志
●和歌山市 総務公室 政策推進部 交通政策課 課長 米澤範和
●紀の川市役所 企画部 政策調整課 課長 長谷川和洋
●貴志川線の未来を「つくる」会 代表 濱口晃夫
●和歌山県立貴志川高等学校 校長 楠見隆功

基調報告 鉄道の未来学

22 貴志川線の存続に見る
地方鉄道の再生について
●和歌山大学経済学部 教授／副学部長 辻本勝久

26 江ノ島電鉄・富山地方鉄道

28 阪急電鉄・阪神電気鉄道

28 連載 地方民鉄紀行
弘南鉄道株式会社 大鰐線

30 連載 大正・昭和の鳥瞰図絵師 吉田初三郎の世界
岡山市
●首都大学東京非常勤講師 藤本一美